

無線周波数共有の商用導入を加速するためにダイナミック・スペクトラム・アライアンスの2015年グローバルサミットがフィリピンで開催

2015年1月19日 - フィリピン、マニラ発：より効率的かつ有効な無線周波数の活用に向けた法律・規制の制定を主導する[ダイナミック・スペクトラム・アライアンス \(DSA\)](#)は、無線周波数共有に関する世界最大の会議を2015年5月6日～8日にフィリピン、マニラで開催します。この2015年グローバルサミットは、ダイナミックスペクトルアクセス技術、ビジネスモデル、規制を重点議題として、フィリピン科学技術省情報通信技術 (ICT) 局および同国の通信規制機関である国家電気通信委員会 (NTC) との共同主催により行われます。

ダイナミックスペクトルアクセス技術の導入は、[試験、パイロット通信試験、商用導入という形で](#)世界的にもASEAN諸国においてもすでに進行しています。フィリピンでは、この最新鋭の技術を使用してブロードバンドの接続性を改善するとともに、タリボン、トリニダード、ビエン・ウノド、ユーベイ、カルロス・P・ガルシア地区等の辺境地域における携帯機器による漁師の登録を円滑に行っています。またこの技術は、自然災害による被害者救援のために無線ブロードバンドネットワークを導入する際にも使用されました。フィリピン政府はこの2015年グローバルサミットを通じて、地域経済の支援と教育や電子式の保健・行政サービスにおける新たな機会の創生を目標に、自国全土にわたってスペクトルの供給と可用性を革新技術により高める必要性に関してより認識を高めていくことになると考えられます。

科学技術省ICT局長のルイス・カサンプレ氏は次のように述べています。「とりわけ、無線データトラフィックの激増とネットワーク容量への負荷の高まりが、無線スペクトルの中でまだ割り当てられていない部分を活用することへの興味に拍車をかける中、フィリピンで実施中のテレビ帯ホワイトスペースのパイロット試験はアジア地域において最も広範なものです。フィリピンでは自国のネットワーク接続性を強化し、すでに進行中のパイロット試験地の数を大幅に増やすことを目指しており、ダイナミック・スペクトラム・アライアンス・グローバルサミットを主催するという事は、この技術を我が国が熱意をもって支持しているということの表れです。」

この2015年第3回グローバルサミットは、昨年行われたガーナでの会議を土台として実地経験をもつ専門家を一堂に集め、政府、企業、共同体が無線帯域幅利用にかける費用を低減し、最も繁忙な都市やはるか辺境の地域に手頃な価格でインターネットアクセスを提供するためにダイナミックスペクトルアクセス技術がどう役立つのかについて議論していきます。各セッションでは、今後40億人をインターネットに接続するという課題からモノのインターネットの実現にいたるまで、次世代のネットワーク接続性に向けた最新の技術的進歩、規制イニシアチブ、導入戦略を網羅して議論していきます。また、議題には、テレビ帯ホワイトスペースの導入と規制モデルについてのセミナー、プロジェクトの資金調達に関するセミナーも新たに含まれます。

また、ダイナミック・スペクトラム・アライアンスのエグゼクティブ・ディレクター、H. Nwana教授は「ダイナミックスペクトルアクセス技術の導入に向かって大きな進展がある一方、さらに多くのことを行う必要があります」と述べています。「引き続き、世界的な規模で無線周波数を最大限に活用する必要性の重大さについて意識を高め、デジタル・デバイドの問題に対応していく必要があります。今年のグローバルサミットは、ダイナミックスペクトルアクセス技術による将来の可能性に焦点を当て、規制、ガイドラインと標準をつくるためのディスカッションを効果的に進めていきます。これは人間関係および主導権を構築するものになるとともに限られた希少な周波数をより有効に活用するための世界的な努力を牽引していくこととなります。」

「また、このグローバルサミットは、フィリピンやラテンアメリカなどの開発途上地域や新興経済国に対するネットワーク接続性を格段に向上させるためのこれからの手段について話し合う土壌ともなります。我々はすでに、2016年の会議をラテンアメリカで開催するという希望をもっています。」

さらに、国家電気通信委員会理事、ガマリエル・A・コルドバ氏は次のように述べています。「ダイナミック・スペクトラム・アライアンス理事会が2015年グローバルサミットの開催地としてフィリピンを選んでくださったことを嬉しく思っています。アライアンスとの共同により無線周波数に関するこの重要な会議を開催することを楽しみにしています。」

Microsoft、MediaTek、Googleがすでに本サミットのスポンサーとなっています。ご登録についてさらに詳しくは、www.dynamicspectrumalliance.org/summit.html をご覧いただくか、admin@dynamicspectrumalliance.org までお問い合わせください。

DSAの結成以来、加盟団体は急速に増加しており、Microsoft、Google、British Sky Broadcasting、Facebook、InterDigital、MediaTek、Murata、AirTies、Aruba Networks、ATDI、Broadcom、Saankhya Labsなど業界を代表する企業をはじめとして世界から40を超える団体が参加しているだけでなく、Aviacomm、Adaptrum、6Harmonics、SpectraLink Wirelessなどダイナミックスペクトルアクセスの運用を開始している企業も含まれています。さらにNICT (Japan)やCSIR (South Africa)などの研究機関も加盟しています。すなわち、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、メディア部門と並んで、非営利および公共部門の団体も加盟しています。

ダイナミック・スペクトラム・アライアンスについてさらに詳しくは、www.dynamicspectrumalliance.org/ をご覧になるか、Twitterで[@dynamicspectrum](https://twitter.com/dynamicspectrum) をフォローしてください。また、FacebookあるいはLinkedInで、アライアンスにご参加ください。メディア関連のお問い合わせは、ダナ・ヘア (dana.hare@proactive-pr.com、+44 7795 615466) またはラッセル・カファティ (russell.cafferty@proactive-pr.com) までご連絡ください。

ダイナミック・スペクトラム・アライアンスについて

ダイナミック・スペクトラム・アライアンス(DSA)は、より効率的で有効な無線周波数の活用に向けて法律、規制の制定を主導する世界組織です。DSA加盟団体は、世界中の多国籍企業から中小企業、学術・研究機関、その他の組織にまでわたります。いずれも、消費者と企

業の両方の利益となる利用可能なスペクトルを増大するための革新的ソリューションを生み出そうと努力しています。<http://www.dynamicspectrumalliance.org/> をご覧ください。